

鳥羽市津波ハザードマップを作成しました



市では、大規模な津波が発生した際、市民のみなさんが円滑に避難でき、被害を最小限に抑えることを目的として、「鳥羽市津波ハザードマップ」を作成しました。

このハザードマップでみなさんの家庭や職場の状況を確認し、家族や地域で避難場所や避難経路について話し合ったり、避難訓練などに活用してください。



総務課防災危機管理室



☎ (25) 1118

一人一人が備えてこい！
防災力UP！鳥羽

vol.19

作成したマップはA2サイズの両面刷りで、全部で7種類あります。

【表面】

地域を以下の区分ごとに拡大した津波浸水予測図
鳥羽、安楽島、加茂、長岡、鏡浦、離島1(答志島)、離島2(菅島、坂手島、神島)

【裏面】

市全域の津波浸水予測図

以下の情報を掲載しました。

津波浸水予測図、津波避難場所・防災行政無線の位置、津波避難に関する啓発、とばメール登録方法、ハザードマップデータの閲覧方法、地点ごとの30cm到達時間と最大津波高

何に基づいた予想なの？

平成25年度三重県被害想定調査結果に基づき作成しました。これは、あらゆる可能性を科学的見地から考慮し、発生する確率は極めて低いものの理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震を想定したものです。

マップ利用の注意点

このマップの浸水予測図や到達時間、最大津波高は一つの予測結果であり、これ以上、これ以下の場合もあります。マップ上では安全とされている場所であっても、想定にとらわれることなく、大きな地震があったり危険を感じたりしたときには速やかに避難をすることを徹底してください。

平成26年度男女共同参画週間のキャッチフレーズは「家事場のパパヂカラ」でした。このキャッチフレーズどおり家庭内で家事・育児に参加する夫は、最近では多くなってきましたが、あるデータによると共働きの妻の家事時間は1日186分に対し、夫はわずかに12分となっています。さらに共働きの妻の6割が「夫の家事について「雑」「手が悪い」「イヤイヤやっている」など、不満を感じているようです。

家事・育児などの腕前はもろもろのこと、時間的にも、まだまだ女性にはかなわないことが多いデータとなっています。家事・育児は、時に夫婦げんかの火種にもなりかねません。みなさんは「ハッピー家事シェアライフ」という言葉が話題になっていることをご存知でしょうか。家事シェアライフを楽しんでいる家庭では、夫婦が同時進行で手際よく家事・育児を進め、料理中に洗濯が終わると夫が洗濯物を干すなど「動ける人が動く」をモットーにあえて担当を決めずに、急な事態にも臨機応変に対応しているそうです。

夫婦のチームプレイで家事・育児を行えば、時間が短縮でき、余暇を楽しむ時間が増えます。また、家事・育児を行う男性にも当事者意識が芽生えてくるようです。

家事・育児は大変な重労働。お互いを思いやり感謝の言葉を忘れずに「家事場のパパヂカラ」を発揮し、家事シェアライフを楽しんでみましょう。

イコール
パートナー
シップ

Vol.117



家事場のパパヂカラ

市民課人権・生活係

☎ (25) 1126